

# 昭和五十九年度 市政モニター

市民の皆さんの意向を市政に反映するための広聴活動と



して、昭和五十三年度から導入して、今年で七期目を迎えました。

今年度は、つぎの二十名の方にモニターを委嘱しました。市民総参加の市政推進のためご活躍願います。

- (敬称略)
- ▽天野よし江 金井
  - ▽岩瀬 次夫 小形山
  - ▽上田 明子 田原一丁目
  - ▽太田 正芳 十日市場
  - ▽岡田 益巳 十日市場
  - ▽長田 良雄 中央四丁目
  - ▽加藤 嘉一 上谷三丁目
  - ▽君田 時子 下谷三丁目
  - ▽近藤佐智子 古川渡
  - ▽重森 平 上谷五丁目
  - ▽重森 葉子 小野
  - ▽清水あや子 朝日馬場
  - ▽戸沢 葉子 戸沢
  - ▽藤江 武司 夏狩
  - ▽前田 照茂 与繩
  - ▽正木 利雄 上谷二丁目
  - ▽安田 勝代 つる一丁目
  - ▽米山 博光 中津森
  - ▽渡辺 覚三 境
  - ▽渡辺 稔 中央二丁目

## 今月のふるさと

### カレンダー

#### 五月の写真説明



この写真は、中央二丁目の今泉経広さんからお借りしたものです。今泉さんには、このほかにも何点かお借りいたしました。

院辺橋については、長者町の酒井虎獅狼さんにお聞きしました。

「いまから五〇〇年も前のことだが、院辺橋という名前は現在の長生寺を昔、長生院と言っていた。その長生院の辺(ほとり)に作った橋なので院辺橋と言うようになった。」

院辺橋は、すでに江戸時代からありましたが、明治のかわりに木橋のつりばしとして写真にある場所に作られました。

だが、大正のはじめ大水によって流されてしまい、写真の橋は、仮橋として作られたもののようです。写真をよくみるとわかりますが、急な流れを避けて浅瀬に木枠をつくり大きな石をいっばいいれて橋台としたり、工夫のあとが伺えます。が、大正十三年八月につりばしが完成するまで、毎年のように仮橋は大水のために流されたようです。

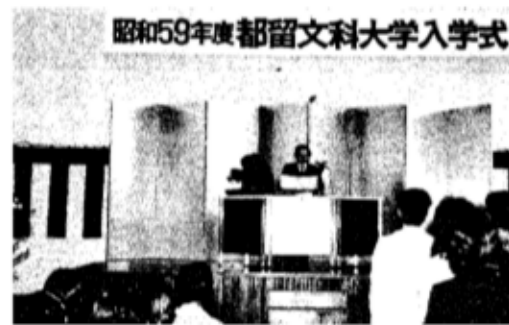
鉄橋のつりばしは、現在の橋と比べると、少し下流になり桂川に対し直角に架けられていました。いまでもその跡を見ることが出来ます。

その後、この橋も含めて県

道高畑谷村停車場線として、昭和三十三年十月六日に認定され、昭和三十四年五月に現在の橋が完成と同時に県道として供用開始されました。

※四月の三の丸発電所の建物ですが「戦後まもなく取りこわされたよう…」としましたが、実際は、昭和三十年にとりこわし、近くの小俣鉄工所でその材料をもとに工場を作り、いまでも三の丸発電所の面影を見ることが出来ます。

※三月の落合水路橋の写真のご提供は、東京電力(株)橋工務所の間違いでした。お詫びして訂正いたします。



## 都留文科大学

### 入学式

四月十日都留文科大学で、昭和五十九年度の入学式が行われました。

今年の入学生は、初等教育・園文・英文の三学科と特別編入生を合わせ五五四名。皆厳しい受験戦争の難関を突破してきただけに、希望にあふれ明るい表情で式に臨みました。

入学認証の授与につづいて上田薫新学長から新入生を迎えることばがありました。上田学長はこの中で、今後の大生としての生き方について触れ「自己の人生からすれば四年間という大学生活は、瞬時にも等しい短いものであるが、反面非常に意義のある期間である。この貴重な時間を各々が自己を探究し悔いのない大学生活を過ごすことを期待する」と強調しました。

これに対し新入生を代表し、英文学科の谷内路久君より、「初心忘れるべからずを旨とし、理想を抱き下向な情熱をもって、大学生とし恥じないよう精一杯の努力をします」との誓いのことばがありました。